

授賞後のサポートの様子

CSOフォーラムは賞金だけではなく、大阪NPOセンターのクラウドネットワークを活用したサポートがついてきます。ファイナリストはもちろんのこと、応募者全員にフォローアップサポートの機会を設けています。サポートは、各団体のニーズに合わせて対応しています。

ファイナリスト、セミファイナリストへの終了後のヒアリング（2025年12月～2026年1月）

最終選考会にて素晴らしい事業プレゼンをしていただいたファイナリスト5団体、2次選考会まで進んだセミファイナリスト5団体に対し、事務局が改めてヒアリングを行い、選考会では聞くことができなかった事業の詳細をお話していただきました。すべての選考が終了しているので、団体自身もこれまでの経過を振り返りながら本音ベースでお話いただけたと思います。このヒアリングをもとに、各団体に必要とされるサポートや、マッチングをすすめています。



CSOフォーラム申請者を対象とした事業に関する無料相談会を開催（2026年1月、3月）

CSOフォーラムに申請いただいた全国のみなさまを対象に、1月と3月の2回、事務局による運営相談会を開催しました。合計7団体からのお申込みがあり、内容は事業の拡げ方や組織の体制について、助成金の獲得方法など多岐にわたりました。各団体1時間という限られた相談時間ではありましたが、「普段このような内容をどこに相談すればいいかわからなかったので、ありがたい機会でした」という声が多く、事務局としても大阪NPOセンターに蓄積された知識や情報を求めている方々が、まだまだ多くいることを知る機会にもなりました。

センター事務局による伴走サポート（2026年1月～継続中）

今後必要な資源等を詳しくお話をお伺いしたファイナリストの中から、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと、認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべに対しては事務局による継続伴走サポート（半年間）を実施しています。

●認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

むすびえでは、都道府県や圏域・市区町村でこども食堂の交流・情報交換や運営支援などに取り組む「地域ネットワーク団体」をパートナーとして、地域の実情に応じたこども食堂の応援・支援に取り組まれています。そのうちの1つである「大阪府こども食堂ネットワーク」は大阪大学大学院研究科が事務局を担っており大学と地域が協働するネットワークです。大阪NPOセンターはサポートの一環として大阪大学豊中キャンパスでおこなわれた大阪府こども食堂ネットワークの会議にむすびえと共に出席しています。大阪NPOセンターもこれまでの知見を活かしネットワーク構築の入口や連携方法についてむすびえと協働し、伴奏支援をしています。



●認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ

事務局長の鈴木さんと定期的にお話をする機会をもち、壁打ち相談に対応しています。運営状況に合わせ大阪NPOセンターの中間支援組織としての経験や情報・ネットワークを活かし、共感や助言を行い、安心して事業を進めていただくお手伝いをしています。

